作成日：　2024 年　12 月 23 日（第 1.1 版）

研究に関するご協力のお願い

福島県立医科大学放射線医学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の多機関共同研究を実施します。本学における MRI 画像データの利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

２０２５年　1月

福島県立医科大学医学部放射線医学講座　伊藤　浩

■ 研究課題名

婦人科 T2 強調 MRI 画像における子宮や周囲臓器の動きと骨盤内における子宮の位置に基づいた画質改善方法に関する研究

■ 研究期間

２０２５年1月　～　２０３０年1月

■ 研究の目的・意義

婦人科領域における疾患（子宮内膜がん、子宮頸がん、卵巣がん、子宮筋腫、子宮腺筋症等）の発見や病気の進行程度、治療の方針の決定に婦人科領域の MRI 検査は有用とされています。しかし、子宮の周囲には、膀胱や腸管などの他の臓器が隣接しているため、これらの臓器の動きと一緒に動いています。撮影中に被写体が動いてしまうと、一般的なカメラで撮影される写真にボケが生じてしまうのと同様に、MRI も撮像中の被写体の動きによって MRI 画像の画質が低下してしまいます。この画質の低下によって、医師による画像診断が難しくなる場合があります。また、骨盤内の子宮の位置が画質に影響を与えるという報告もあります。子宮や周囲臓器の動き方、子宮の骨盤内における位置を考慮すれば、MRI 画像における画質低下を抑制するための適切な撮像方法を見出すことができる可能性があります。したがって、子宮や周囲臓器の動き方、子宮の骨盤内における位置に基づいた女性骨盤 T2 強調画像の画質を改善する撮像方法を検討することが本研究の目的です。

■ 研究対象となる方

2022 年 8 月から 2024 年 10 月に福島県立医科大学附属病院の 3 T MRI 装置で婦人科 MRI 検査を受けた成人女性の患者さんが対象です。

■ 研究の方法

後ろ向きの研究になるため、新たなデータ取得はありません。既に撮像された MRI 画像の解析を行います。MRI 画像の画質について、医師による視覚的評価と放射線技師による定量的な評価を行います。子宮の動きに関する解析について、画像解析ソフトを使用し、定量評価をします。

MRI 画像の画質と子宮の動きの関係について検討します。

■ 研究組織

この研究は福島県立医科大学放射線医学講座を中心とした多機関共同研究です。全ての共同研究機関とその研究責任者の氏名は次のとおりです。
集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長　竹之下誠一であり、それらの情報は共同研究機関で共同利用し解析を行います。

【研究組織】

研究代表者	福島県立医科大学医学部放射線医学講座　教授　伊藤浩
共同研究機関 研究責任者	茨城県立医療大学　保健医療学部放射線技術科学科　教授　門間正彦 小樽市立病院　放射線室　主査　大浦大輔

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

国立情報学研究所（NII）が提供している NII FileSender を使用し、共同研究機関に送付します。研究 ID と解析に必要な MRI 画像データのみを提供します。

■ 他の機関などへの試料・情報の提供を開始する日について

2025 年 2 月 1 日以降

■ この研究に関する問い合わせについて

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益

が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

■試料・情報の利用を望まれない場合等の連絡先

〒960-1295　福島県福島市光が丘１番地
公立大学法人福島県立医科大学附属病院　担当：石川　寛延
電話：024-547-1595
e-mail：ishihiro@fmu.ac.jp